目標年度前に目標値を達成した指定製品について

令和6年3月22日
経済産業省製造産業局
化学物質管理課
オゾン層保護等推進室

- 「硬質ポリウレタンフォームを用いた冷蔵又は冷凍の機能を有する自動販売機」は、断熱材として使われている硬質ポリウレタンフォームのHFC系発泡剤に代わり、フッ素の新たなノンフロン発泡剤としてHF0-1233zd (GWP : 1)、HF0-1336mzz (GWP : 2)、HF0-1234yd (GWP : < 1) が提案され、所要の断熱性能が得られる代替技術が確立し、製品供給に向けた目途も得られたことから、2020年に指定製品として目標値100、目標年度2024年度と設定された。
- 国の調査(※1)において、一般社団法人日本自動販売システム機械工業会に冷媒の転換状況を確認したところ、HF0、シクロペンタン又はCO2発泡による硬質ポリウレタンフォームを用いた自動販売機に切り替えられており、既に目標値を達成していることを確認した(※2)。

(※1) 令和4年度化学物質安全対策(フロン類及び指定製品の製造業者等に関する調査)

(※2) 環境影響度(発泡剤のGWP)の出荷台数での加重平均値は0.13であり、目標値100と比較しても十分に達成している。